

会員各位

## 2017年度 第2回(通算108回)造粒分科会 技術討論会 開催のご案内

(社)日本粉体工業技術協会 造粒分科会  
コーディネーター 中央大学教授 村瀬和典  
副コーディネーター 首都大学東京大学院准教授 武井孝  
代表幹事 (株)ダルトン 桑原敏之  
担当幹事 (株)アーステクニカ 石井隆司  
(株)奈良機械製作所 岩松英敏

### テーマ:「造粒技術における添加剤の役割と効果」

造粒技術は数多くの分野において、その技術を支えています。当分科会では「粒を造り、粒を制御する」という観点から、粒や粒子の制御に関わる業界先端技術を討論の場に挙げることによって、参加された皆様が普段抱えている問題をブレークスルーするヒントとして頂きたいと活動しております。

今回は「造粒技術における添加剤の役割と効果」というテーマで、バインダーや添加剤、崩壊剤など造粒品の機能性付与に欠かせない各種添加剤について、中央大学講義室をお借りして技術討論会を行います。是非、ご参加ください。

1. 日時 : 2018年3月9日(金) 10:30~18:30 (受付開始 10:00~)
2. 会場 : 中央大学 後樂園キャンパス (3号館3階 3300講義室)
3. プログラム(内容順序・時間配分については変更される事があります。講演時間は質疑応答5分含まれます)

(1)開会挨拶 (10:30~10:35)

(2)連絡事項 (10:35~10:40)

(3)基調講演 (10:40~11:45)

#### 「造粒における添加物と作用機構」

秋山錠剤株式会社 製剤開発課 顧問 阪本光男 氏

製品開発において、製造技術(ソフト)、製造機械(ハード)とならんで添加物の選択は重要である。本講演では、添加物の機能とその作用機構について概説する。添加物には、賦形剤、結合剤、崩壊剤から成る複合型添加剤。最近では、造粒における結合剤、高い防湿効果を有するコーティング剤、そして難溶性薬物の製剤からの溶出性を改善する固溶体基剤と多機能性をもつ添加剤も開発されている。そこで、これらについても言する。

(4)昼食 (11:45~13:00) ※昼食は各自負担(1F食堂を利用できます)

(5)講演① (13:00~13:45)

#### 「低置換度ヒドロキシプロピルセルロース(L-HPC®)の造粒用途への応用」

信越化学工業株式会社 セルローステクニカルサポートセンター 星野貴史 氏

医薬用の崩壊剤として広く知られているL-HPC®を、造粒用の添加剤として用いた応用事例についてL-HPC®各製品の基礎物性と共に得られる製剤学的特徴について説明する。また造粒技術を利用した最新の添加剤についても紹介する。

(6) 講演② (13:45~14:30)

「結合剤として医薬品添加剤 POVACOAT®を用いた湿式攪拌造粒に関する検討」

大同化成工業株式会社 ライフサイエンス事業部 ヘルス&ビューティケア部 浦松俊治 氏  
医薬品添加剤である POVACOAT®は、皮膜の高延伸性と粉体への高展延性の性質を有している。  
これらの特性が、結合剤として使用した際の造粒特性ならびに錠剤物性等に与える効果に関して報告させていただきます。

休憩(15分間) (14:30~14:45)

(7) 講演③ (14:45~15:30)

「NISSO HPC の特徴と造粒技術への適用」

日本曹達株式会社 二本木工場 生産技術研究所 中本憲史 氏  
セルロース誘導体であるヒドロキシプロピルセルロース(HPC)は、各種造粒法における結合剤として機能する。本講演では各種造粒方法における HPC の適用について紹介する。

(8) 講演④ (15:30~16:15)

「高性能リチウム電池に向けたバインダーの高機能化」

日本ゼオン株式会社 総合開発センター 機能性材料研究所 チームリーダー 山本徳一 氏  
バインダーは、リチウム電池の中で、活物質、電解液、セパレータと比べると脇役の印象が強い。しかし、近年バインダーは、電池の高性能化に欠かせない材料として注目されており、特に製造プロセスにおいて重要な役割を持っている。今回は、このバインダーの高機能化について紹介する。

(9) 総合討論まとめ (16:15~16:45)

(10) 技術交流会 (17:00~18:30)

4. 参加費 : 会員 6,000 円、非会員 9,000 円 (技術交流会費を含む)

5. 定員 : 50 名

6. 申込締切 : 2018 年 2 月 28 日(水) (定員になり次第締切りますので、お早目にお申込み下さい。)

7. 申込方法 : 次頁の参加申込書に記入いただき、事務局宛に FAX または e-mail にてお申込み下さい。

【申込先:造粒分科会事務局】

株ダルトン パウダー・システム機器事業部 高野桂

E-mail:k-takano-9wst@dalton.co.jp TEL:03-3549-6840 FAX:03-3549-6841

8. 参加費支払:お申込受付後、受領書と一緒に請求書を e-mail にてお送り致します。

下記銀行口座へ 2018年3月2日(金)までにお振込み下さい。

三井住友銀行 飯田橋支店 普通口座 No.7140974

口座名:造粒分科会(ゾウリュウブンカカイ)

※振込手数料は、貴社にてご負担願います。

※お振込いただいた参加費は返金できませんので、欠席の場合は代理の方のご参加をお願い致します。

以上

FAX : 03-3549-6841

E-Mail : k-takano-9wst@dalton.co.jp

(株)ダルトン パウダー・システム機器事業部

PS事業管理部 高野 宛

2017年度 第2回（通算108回）造粒分科会  
技術討論会参加申込書

会社名			
(フリガナ) 氏名			
部署・役職			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail		会員種別	1.協会会員 2.非会員
入金予定日		交流会出欠	1.出席 2.欠席
連絡欄			

※ E-mailアドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。分科会開催のご案内のため、是非ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

※ 事務処理上領収書の発行が必要な方は、申込書連絡欄に「領収書要」と記入して下さい。当日会場受付にてお渡しします。